

徳島県における2次保健医療圏の状況について

1. 2次保健医療圏とは

2次医療圏は、特殊な医療並びに医療法第7条第2項に規定する療養病床及び一般病床以外の病床（精神、感染症、結核）に係る医療を除く一般の医療需要に対応するために設定する区域。原則として入院医療（高度・特殊な医療を除く）の需要に対応。

2. 2次保健医療圏見直しの必要性

医療計画の第6次改定に向けた国の基本方針等改正において

- ・人口20万人未満
- ・推計流入入院患者割合が20%未満
- ・推計流出入院患者割合が20%以上

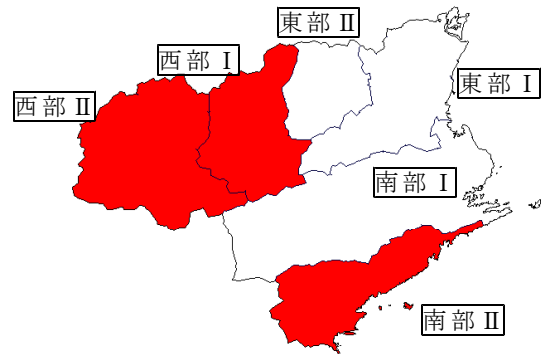
のいずれにも該当する場合は見直しを検討することとされた。

3. 検討すべき圏域

この基準を適用した場合、本県の6つの2次医療圏のうち見直しを検討すべき圏域は、南部Ⅱ並びに西部Ⅰ及び西部Ⅱの3圏域となる。

圏域人口及び推計流入出患者割合

区分	人口	流入患者割合(%)	流出患者割合(%)
東部Ⅰ	457,675	19.8	9.8
東部Ⅱ	83,267	31.1	25.4
南部Ⅰ	133,543	26.0	23.9
南部Ⅱ	23,037	15.3	64.2
西部Ⅰ	42,974	11.6	46.4
西部Ⅱ	44,995	12.3	30.6



出典：平成22年国勢調査（総務省統計局）

平成20年患者調査（厚生労働省医政局指導課による特別集計）

【病院の療養病床及び一般病床の推計入院患者の動向（患者住所地からの動向）】

区分	施設住所地						
	東部Ⅰ	東部Ⅱ	南部Ⅰ	南部Ⅱ	西部Ⅰ	西部Ⅱ	県外
患者住所地 東部Ⅰ	90.2	3.3	4.6	-	0.1	-	1.9
東部Ⅱ	19.9	74.6	2.4	-	1.1	0.5	1.5
南部Ⅰ	20.5	1.1	76.1	0.1	-	-	2.1
南部Ⅱ	25.5	2.6	34.2	35.9	-	-	1.7
西部Ⅰ	14.8	16.8	0.7	-	53.5	10.9	3.2
西部Ⅱ	9.5	3.1	1.4	-	2.3	69.5	14.1

※計数のない場合：「-」

出典：平成20年患者調査（厚生労働省医政局指導課による特別集計）

4. 各圏域の状況

(1) 圏域面積及び住民の年齢構成等

- 人口では、南部Ⅱが2万3千人と全国の2次医療圏で最小の人口規模（島しょ部を除く）。
- 面積では、最大の南部Ⅰが1,000k㎡超、最小の東部Ⅱが300k㎡余りと、格差は約3倍。
- 年齢構成では、検討対象の3圏域の高齢化率が高く、南部Ⅱでは、約4割が65歳以上。
- 国立社会保障・人口問題研究所による将来推計によれば、今後も高齢化は進展し、2035年には、南部Ⅱで50%以上、西部Ⅱにおいて46%が65歳以上になるとの見通し。

圏域ごと面積、住民の年齢構成等

区分	人口 (人)	面積 (km ²)	年齢別人口割合			世帯総数 (世帯)	うち 65歳以上の 高齢単身者 世帯 (世帯)	総世帯数に 占める比率 (%)	高齢夫婦世 帯(夫65歳 以上妻60歳 以上の夫婦 1組一般世 帯)	
			15歳未 満 (%)	15~64 歳 (%)	65歳以 上 (%)				総世帯数に 占める比率 (%)	総世帯数に 占める比率 (%)
東部Ⅰ	457,675	681.2	13.0	63.1	23.9	181,902	17,027	9.4	18,108	10.0
東部Ⅱ	83,267	335.2	11.6	58.8	29.6	29,046	3,135	10.8	3,512	12.1
南部Ⅰ	133,543	1,199.1	12.7	58.8	28.4	48,463	5,216	10.8	6,378	13.2
南部Ⅱ	23,037	525.0	9.7	50.7	39.5	9,626	1,634	17.0	1,904	19.8
西部Ⅰ	42,974	562.2	10.5	55.7	33.9	15,934	2,506	15.7	2,320	14.6
西部Ⅱ	44,995	844.0	10.6	54.2	35.2	17,323	2,847	16.4	2,562	14.8

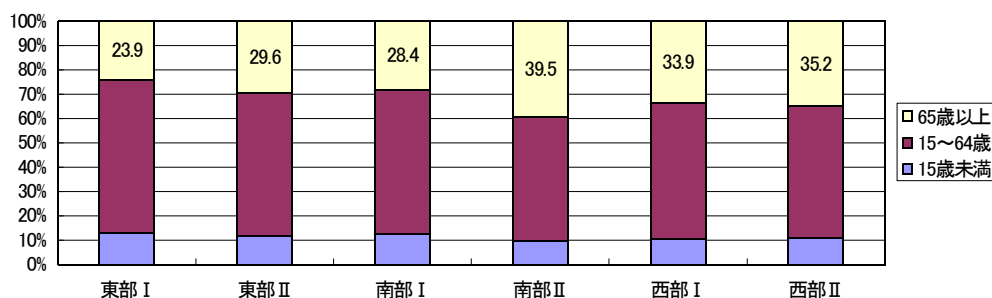
出典：平成22年国勢調査(総務省統計局)

圏域別総人口及び高齢化率(65歳以上)の推移見通し

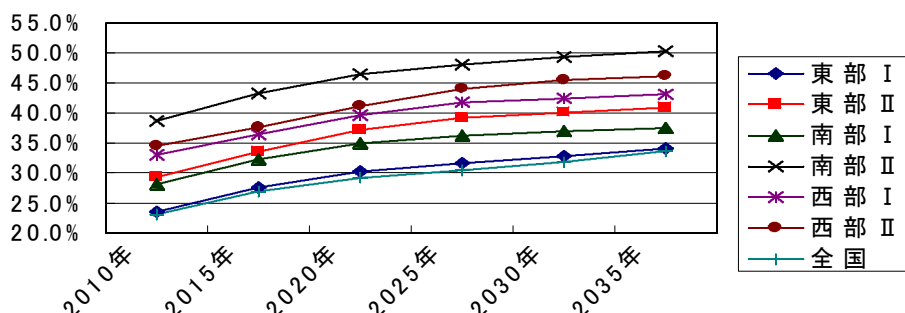
		2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
東部Ⅰ	総人口	457,675	449,429	437,495	422,727	405,906	387,452
	高齢化率	23.5%	27.6%	30.2%	31.7%	32.8%	34.1%
東部Ⅱ	総人口	83,267	79,703	75,400	70,966	66,523	61,923
	高齢化率	29.3%	33.6%	37.2%	39.2%	40.1%	40.9%
南部Ⅰ	総人口	133,543	128,556	122,126	115,200	108,192	101,117
	高齢化率	28.2%	32.3%	35.0%	36.3%	37.0%	37.5%
南部Ⅱ	総人口	23,037	22,115	20,219	18,378	16,658	15,077
	高齢化率	38.7%	43.3%	46.5%	48.1%	49.4%	50.3%
西部Ⅰ	総人口	42,974	39,661	36,395	33,259	30,368	27,645
	高齢化率	33.0%	36.4%	39.7%	41.8%	42.5%	43.1%
西部Ⅱ	総人口	44,995	42,190	38,476	34,988	31,842	28,881
	高齢化率	34.5%	37.6%	41.2%	44.1%	45.5%	46.2%
全国	総人口	127,176,445	125,430,217	122,734,996	119,269,828	115,223,669	110,679,406
	高齢化率	23.1%	26.9%	29.2%	30.5%	31.8%	33.6%

出典：2005年国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 市区町村別将来推計人口 平成20年12月推計

年齢別人口割合(圏域別)



圏域別高齢化率推計



(2) 病院施設及び医師の状況

病院施設及び医療施設に従事する医師は、いずれも70%超が東部の2圏域に存在。

南部Ⅱにおいて、病院施設、病床、医師のいずれも最も少ない状況であり、人口10万人あたりの医師数でも、南部Ⅱ及び西部Ⅰ、西部Ⅱにおいて200人を下回る状況。

圏域別病院等の状況

	病院施設 総数	病床総数	うち		人口 10万人 あたり 総病床数	医療施設 従事医師 総数	人口 10万人 あたり
			療養 病床	一般 病床			
東部Ⅰ	68	9,417	3,038	3,432	2,058	1,501	328
東部Ⅱ	8	1,284	450	834	1,542	170	204
南部Ⅰ	16	2,041	507	1,390	1,528	346	259
南部Ⅱ	5	379	-	227	1,645	41	178
西部Ⅰ	11	1,005	187	342	2,339	85	198
西部Ⅱ	9	1,081	299	418	2,402	80	178
全国	8,670	1,593,354	903,621	332,986	1,244	280,431	219

平成22年「医療施設調査」及び「医師・歯科医師・薬剤師調査」(厚生労働省)

5. 交通事情

南部を海部駅、西部を阿波池田駅を起点としてみると、主な流出先の南部Ⅰや東部Ⅰへの移動時間は1時間以上を要し、南部Ⅱであれば、自動車利用で2時間程度を要する状況である。

<南部圏域>

	海部駅	→	阿南駅	→	小松島駅	→	徳島駅	
【鉄道】			約1時間		約1時間20分		約1時間30分	(特急利用)
【自動車】			約1時間30分		約2時間		約2時間10分	

<西部圏域>

	阿波池田駅	→	阿波半田駅	→	鴨島駅	→	徳島駅	
【鉄道】			約30分		約50分		約1時間10分	(特急利用)
【自動車】			約40分		約1時間		約1時間20分	(高速利用)